8 de Outubro de 1920 No. 157

Noticias do Brazil

大正九年十月八日　金曜日　第百五十七號

伯和西爾日報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Fagundes N. 16
Caixa Postal H
Tele. Central, 3447
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi

Assignaturas
por Anno ——— 15$000
„ Semestre ——— 8$000
„ Mez ——— 1$500
„ Semana ——— $500

個人主義とは何ぞ（上）

世に社會學と社會主義とを混同する者の尠なくないやうに、利己主義と個人主義とを混同する者も亦尠なくないやうである、而して前者の混同は主として文字の似寄から來るものであるから、少しく近世の學問を修めた者には容易く其の區別を理解し得るが、利己主義と個人主義の區別に至つては、其の境界の頗る判然たらざる物があるから、茲に少しく之が内容を解說して見たいと思ふ。

一體個人主義とは何かと云はば、各自が生れながら持つてゐる處の自由を伸ばし、個人性を尊重するの倫理主義であるから、各自の個人性をば倫理的に伸して行くには、何うしても其處に他人の自由を尊重するの必要が生じ、自然社會なるものが出來て來るので、此處が利己主義と個人主義との分岐目の根本である、何ぜならば、利己主義には社會が無用なるに反し個人主義には、社會が當然伴ふからである。

故に家族制度が完備するも社會組織の不完全なる日本に在つては、明治の初年鎖國の幕を切り落して外國と交通を始むるや、個人主義なるものも他の新思想と共に流れ込だが、日本には固々之を倫理化する社會が無つたが爲めに、遂に横道に逸れて利己主義となり、個人主義本來の性質たる個人性の主張と、自由の尊重とは他人の其れと衝突し、舶來の個人主義が恰も和製の利己主義と其の型を同ふするの奇觀を呈するに至つたのであるが、併し之は個人主義の缺陷から來たのではなく、日本に社會らしき社會が無つたが爲めの變態と見るべきである。

其の證據には、個人主義の本家本元たる英米等に於ては、人は人として平等なりと云ふ觀念の下に社會を組織し、此の組織者たる個人が自から作られる社會に對し自制限を爲して、其の間の調和を圖つてゐるのであるから、日本も是から社會らしい社會に於て統一を付けて行くやうになれば、自から個人主義なるものも倫理化して、互ひに持つて生れた個人性と自由とを、道德的に伸張して行くことが出來るのである。

●棉害虫驅除法案

州上院議員前農務長官にして熱心なる農業改良論者なるカルロス、ポテリヨ氏は、棉の害虫驅除に關し三日に渉り州上院に於て演說せられたり、其際同氏の提出せる法案は當國一般棉作者に重要なる關係あるを以て全文を左に譯載す

毎年九月及十月より播種し始むる棉花栽培に於て、其害虫ラガールタ、ロゼヤを根本的に盡滅する手段を講ずるには、時既に稍々遲れたるを以て、茲には他の害虫驅除法として普通に實行せられ且つ効力あるものを指示すべし

一、棉花の莢を蠶食破壞するラガールタロゼアの棉花栽培地に於ける被害實況に關し各郡役所及農會に其取調を命ずる事

二、害虫の被害を減ずる爲に善良なる種子を使用する事、種子の撰擇には細心なる注意を拂ひ且つ播種前に各農家に於て容易に實行し得べき左の消毒法を施す事

イ、冷水の中に種子を浸し之に火を加へて攝氏六十度に達する迄熱する事

ロ、アグア、デクワーグ即ち寄生虫驅除湯（Banhos carapaticidos）に一晩浸す事

三、前年栽培せる土地には必ず害虫の卵及幼虫の殘存するものなれば之に植付をなす場合は充分の注意を以て棉樹及塵埃を燒き盡すを要す、最も理想的の方法は前栽培地を離れたる土地に植付くる事なり

四、珈琲樹間に栽培せる棉に害虫發生せる場合は其驅除法甚だ困難にして、時には全く不可能なるを以て、棉樹の殘物を悉く燒棄したる後少なくも三ヶ年間は其栽培を中止せしむる事

五、今後棉花採集には健全なる莢にして順當に開莢せるもののみを摘取する事

六、棉花核拔工場と共に次の事項に關し充分なる監督をなす事

い、新に收穫せる棉花の貯藏をなす前に其貯藏所を完全に消毒する事

ろ、貯藏所は外部との交通を遮斷する事

は、奬勵の目的を以て棉の良種、ラガールタの免疫及特別なる價値に就いて證明する事

に、播種用弁に製油にも適せざる種子は爐に焚き又は挽臼にかけて完全に破棄するの必要なる事を會得せしむる事

七、農商工務省宛の委托に非ざる種子の州内輸入を禁じ、又同省は輸入種子を消毒して後各栽培者に配布すべき事

八、規定に合格せる工場及栽培者に授賞法を制定し其工場及栽培地に於て害虫ラガールタ、ロゼアの危險なき事に就て證明を與ふる事

九、最後に州の一般衛生事務に於ける檢疫に類する害虫驅除撲滅方法を採用する事、即ち各郡に害虫驅除地帶を定め、其處にては根本的驅除方法を講ずるのみならず、三年間棉花栽培を中止す、但し其間は個人及一般の利益を損せざる爲來往し或は伯國に常住しながら尙葡棉に代る他の作物を奬勵す之は害虫驅除委員の職責に屬せしむる事

◆波蘭　戰失敗以來レニン、トロツキー勢力失墜露國内亂の報頻に到る

◆之に　反しラングル將軍漸く勢力を加へ南露穀物の第一運送船過日佛國に到着し引續き輸送せらるゝ筈と

◆對支　那四國財團は支那國内の不安定に愛想を盡し借款交涉中止した

◆伊太　利特派大使オルランド目下來伯の途にあり大統領ペツア昨年羅馬訪問に對する答禮の爲の由なるが移民問題も研究の筈夫人令孃を伴ふ

◆オル　ランド本年六十歳多能の士にして文藝、法律、歷史、政治に關し種々著書あり羅馬出發に際し聲言して曰、伊太利移民は伯國の發達を助け又伊伯兩國の關係を親密にすと

◆羅馬　東京間飛行の優勝者フェラリニ中尉無事羅馬に戻り伊太利飛行倶樂部大に歡迎、中尉に金牌を贈る

◆巴里　紐育間を三十八時間で行く飛行機を目下佛國に於て建造中なり

◆獨逸　の舊ゼペリン製造場ではアルミニオ製、新型十八人乘り飛行機の作製を了た速力一時間百二十五哩獨逸から米國まで三十六時間の豫算

◆精力　集注は事業を成就する必要條件で又能率增進の第一手段である

◆日本　人の事業は概して歐米人經營のそれに比しヨリ多くの人を要す

◆則從　業者能率の低きは精力を其擔當事務に集注する訓練不有事第一の原因である

◆歐米　人なら三人で出來る事に五人を要しそれで下手な職人の仕事の樣に仕上り頗る拙い之では海外發展不可能の夢じやた互大に工夫を要す

◆佛國　前大統領ポアンカレーは歐洲大戰亂に際し英國との交涉に便せん爲、英語學習思立ち平和會議の頃は英語の談話殆ど自由自在となつた

◆米國　前大統領ルーズベルトも先年伯國漫遊に當り葡語獨修アマゾン流域探險の頃は雨天休息の時など頻りに葡語文學書を耽讀したといふ。

◆日本　人には業務の爲數々伯國に來往し或は伯國に常住しながら尙葡語を學うとせず幾年經ても用達悉く他人の通譯に依る者あり不心得千萬

謹告

拜啓益々御多祥奉慶賀候

偖而我帝國海軍練習艦隊淺間、磐手の兩艦は司令官船越中將之を統率し七月中日本港灣を出發し遠洋航海の途に上り南洋、南阿の諸港を經由し來る十一月末「リオ、デ、ジヤネイロ」港に入り次いで十二月上旬「サントス」港頭に其勇姿を現はすべき豫定に相成居候

海波一万浬外の異域に於て光輝ある我帝國軍艦の檣頭高く輝く日章旗を仰ぎ艦尾に煌々の光を發する軍艦旗を望み見るを得るは欣快之に優るなく御同慶之に過ぐるなきを思ひ誠心勇躍胸跳るを覺へ候窃かに惟ふに所謂戰艦當に國家を大嶽の安に置き國威を万里の外に伸ぶるは夫の黃海に善戰して淸艦を粉碎し日本海に健鬪して露艦を殄滅したるが如き戰時に於るのみにあらずして平和時に於ける海軍の行動が國際的に有力なる外交機關となり同時に在外同胞の切實緊要なる後援たるべきは多言を要せざる事にして「サントス」を艦隊寄港地の一と定められたるも此趣旨に因るものと信候就ては今回の如き千載一遇とも申すべき好機に於て擧つて遠航の海軍將卒の勞を犒ひ又我海軍が我等在外同胞の爲め盡さるゝ勤勞を感謝する爲め誠を盡し情を極めて歡迎を行ふは吾人當然の義務と奉存候就ては「サンパウロ」市及「サントス」市（ジユキア）線在留の方を含む）在留のもの一同合議の上僭越を省みず發企者として左記の歡迎案を具し之を實行して以て在留民一同の溢るる熱誠を發露致度事に決議仕候而して之を行はんには是非共大方諸賢の熱心なる御援助に待つの外なきは申す迄もなき義に有之候伏して願はくば發起者一同の提案に御賛同被下奮つて寄附金の御醵出を仰ぎ以て歡迎の擧を遂行致度切望此事に御座候發起者一同茲に事情を謹告し諸賢の御賛同を奉懇願候

歡迎方法案

一、『サンパウロ』『ミナス』『マトグロッソ』及『パラナ』四州の在留邦人一同を以て歡迎團を組織すること

二、右歡迎團は練習艦隊歡迎團と命名すること

三、寄附金は左の率に據ること

イ、『サンパウロ』市（近郊を含む）『サントス』市『ジユキア』線を含む以下同じ）在住者は一人拾ミル以上

ロ、右以外の地に在住の方は任意額但し壹ミルレース以下は取扱困難につき申受ざること

四、寄附金は左記へ御拂込を願ふこと

サンパウロ市藤崎商會内歡迎團會計主任　熊坂淸四郎宛

Caixa Postal, 344, S. Paulo

五、寄附金はコンバロールを便宜と致候

六、寄附金收納締切期日大正九年十一月十日限り寄附金の受領に對しては特に受領證を發せずして御芳名及金額を日伯新聞、伯刺西爾時報の兩邦字新聞に掲載し受領證に代ふ

七、艦隊に對しては左の歡迎をなすこと

イ、『サントス』入港の際港外へ汽艇を以て出迎ふること

ロ、『リオ』に到着の時委員三人同地へ出張敬意を表すること

ハ、少尉候補生（機關少尉候補生を含む以下同じ）に『サンパウロ』市及『サントス』市の見物を願ひ酒肴を供すること（士官の一部を含む）

ニ、下士以下に『サントス』市の見物を願ひ酒肴を供すること

ホ、艦隊總員に紀念品（繪葉書の豫定）を贈呈すること

以上總經費約二十五コントの見込

八、サンパウロ總領事館に於て司令官以下將校の御招宴ある筈

練習艦隊歡迎團發起人

サンパウロ市（近郊を含む）　在留民一同
サントス市（ジユキア線を含む）在留民一同

大正九年十月一日

在留民御一同御中

▲注意　ジユキア線沿道の方々は寄附金取扱上に關しサントス市選出の委員と御協議願上候

謹告

拜啓益々御多祥奉賀候偖而別項廣告の如く今般練習艦隊歡迎團の組織を發企致候に付ては左記の如く顧問及委員を選定致し候間此段謹告仕候

顧問　藤田敏郎
同　青柳郁太郎

サンパウロ市委員（イロハ順）

岩淵彪夫　渡邊孝
熊坂淸四郎　黑石淸作
山田揚之助　直哉
鮫島鑿　三浦昌
嶺志賀伊之助
瀨木四十逸

サントス市委員（イロハ順）

中村善三郎　上原直松
藤井力太　三吉一義
座喜琢磨

大正九年十月一日

練習艦隊歡迎團發企人

サンパウロ市（附近を含む）
サントス市（ジユキア線を含む）　在留民一同

在留民御一同御中

謹告

拜啓『サンパウロ』市練習艦隊歡迎團委員會に於て左記の如く役員決定致候間此段謹告仕候也

委員長　山田揚之助
會計主任　熊坂淸四郎
會計　嶺昌
庶務　志賀伊之助

事務所を左記に設置仕候

『サンパウロ』市
『リベルダーデ』街六十六番
日本倶樂部内

尙寄附金御拂込に關するもの以外各地よりの御通信は左の宛名に願上候

練習艦隊歡迎團委員

Caixa Postal 1082
São Paulo

大正九年十月一日
「サンパウロ」市
練習艦隊歡迎團委員

在留民御一同御中

追而「サントス」市の役員に不日決定の上謹告可仕候

經濟欄

●棉花缺乏

棉花の缺乏は今や世界の問題である、現在の棉花供給國は最早や行き詰つて居る世界の紡績業者は新栽培地の開拓を望んで居る。

千八百年以來種々の工業が發達して來たが、其中で紡績業が第一位に在る、同年の棉花產額は五億斤であつたが、千八百五十年には十五億斤、千九百年には七十五億斤、千九百十三年には百四十億斤に達して居る、然し千九百十四年以後は其增加が微々たるもので而も需要の增加は依然として進みつゝある

棉花の新栽培地として注意を惹いて居る處は、メソポタミヤ、クインスランド、新サウス、ウエルス及び伯國である、

將來伯國の珈琲に匹敵する農產物は恐らく棉花であらうとは、某北米資本家の談である

●伊國前首相オルランド氏の渡伯

伊國前首相オルランド氏は、伊伯間の經濟關係研究の名目で已に伊國を出發した、彼は一通信員に語つて曰く、伯國に於ける伊太利人は、其數に於て又商工農界を通じての活動に於て大發展をなして居る、余は之を實地に見て以て伯國渡航希望者の參考資料を得たいと思つて居る、伯國では主として財界知名の人々に逢つて其國の經濟狀態の眞相を聞いて見たいと

オルランド氏は伊國皇帝より伯國大統領ベツア氏に宛てたる先年の羅馬訪問に對する禮狀を持つて居る

●北米行移民激增

戰時中より戰後にかけて歐洲移民の北米へ入國するもの著しく減少したが、此頃漸く戰前の狀態に復り、歐洲發北米行汽船は數ヶ月前より申込むにあらざれば船席を得る能はざる程で、入國移民の最も多數を占むるものは伊太利人、次は西班牙人で露、獨、墺之に次いで居る

此等の移民の中には本國に於て相當の地位に在りしものも多數あるとの事だ

●智利と伊國移民

羅馬駐在智利公使は、本國政府の命に依つて、伊國農務次官を訪ひ、伊國農業移民誘入に關する計畫書を提示し、尙農相、外務次官等をも訪問して該問題に就いて交涉中である

智利政府は同國南部の肥沃なる地を伊國植民地として提供して居る

●南米行伊國移民

伊國外務省から出た話に依ると、伊太利は一九二一年末迄に伯國へ百八十萬人、亞爾然丁へ六十萬人の移民を送り出すと計畫ある

昨年一月から六月迄伊國から南北兩米へ出た移民は五萬六千五百一人で本年同期には九萬二千五百十人主として北米、伯國、亞爾然丁行である

●ブエノス市の万國工業博覽會

亞國ブエノス、アイレス市に於ては再來年(一九二二年)萬國工業博覽會開催の計畫で、博覽會協會が成立した、同協會では之が充當地として二十萬平方メートルの土地を既に政府へ出願し總費用は一千萬ペソの豫算で、開會準備に要する日時は十四ヶ月の見込である、協會では各縣へ向つて贊成加入を勸誘中である

●砂糖積出解禁

糖業代表者との會見の結果、聯邦農務大臣は食糧品調節局長と熟議を遂げ左の通知を各新聞社へ送つた

『政府は食糧品調節局を通じて試驗的に一時伯國各港より國內需要に充つべき砂糖の積出しを許可する事に決定したり』

●日本と關係深き シツフ氏逝去

日露戰爭當時日本の財政の爲め大に盡力せる功に依り先帝陛下より勳三等を賜りたる北米銀行家シツフ氏は先月末紐育に於て死去せり、享年七十三、同氏は獨逸生れの猶太人なるが、年少米國に移住し漸く立身遂に財界の巨星となれり、遺產七千萬弗、日本人中高橋藏相の如き最も親交あり

●日本本年の米收穫見積

農商務大臣山本達雄氏の聲明する處に依れば、日本本年度の米作景況は被害地を除き頗る良好にして、其收穫高は五千八百萬石の豫想なりと

日本の年々の平均收穫は五千三百萬石で、大正七年には五千四百萬石大正五年は本年と大差がなかつた、今年は先づ豐作と云はねばならぬ

御注意

送金、購讀申込の通知狀に住所姓名がなかつたり、又は横文字で姓ばかり書いたり、轉居通知に舊住所を書き落したりしたのが多數ありまして事務の澁滯を來たす事甚しくて大に困りますから今後は必ず左の通り御記入を願ひます

姓名　日本字にてなるべくカナをつけること
現住所　横文字でも日本字でも明瞭に書くこと
舊住所　轉居通知の際には忘れずに現住所と並べて記入すること

伯刺西爾時報社

●●●●留置手紙　左記の手紙はヴイラ、コスチナ耕地へ迷ひ込みしに依り、同地日本人會に保管しある旨同會より通知あり、心當りの人は左記宛廻送方依賴せられよ

Nippon-Jin Kai
Faz. Villa Costina
Est. Villa Costina
L. Mogyana

▲沖縄縣　國吉眞正　志伊良正憲
▲福岡縣　宮城龜牛　城間蒲八　瀬底正道
▲熊本縣　大城かま　糸數カメ
▲廣島縣　宮城次良　稻嶺ツル　稻嶺蒲戸
▲高知縣　鹿兒島縣　當間元正　島袋萬助
▲愛知縣　山崎清二　大城松
▲縣名不詳　有村常義　池田熊五郎　有村初內
小川膳市　植田源助　林スナ
吉良米吉　岩崎淺次
高橋林太郎
戸田忠喜
横井丈太郎
篠崎一夫　南澤利治

●定期相場表（昨日）

◆カフエー（チーポ四番　十キロに付）

十月　八、五七五
十一月　八、六五〇
十二月　八、七五〇
一月　八、七二五
二月　八、八五〇
三月　八、九〇〇

◆アルゴドン（エンラーマ　十五キロに付）

買　十月　四四、〇〇〇
十一月　四四、五〇〇
十二月　四四、七〇〇
一月　四五、五〇〇
二月　四六、三〇〇
三月　四六、六〇〇

賣　十月　四四、五〇〇
十一月　四四、九〇〇
十二月　四五、一〇〇
一月　四五、七〇〇
二月　四六、四五〇
三月　四七、三〇〇

◆アルゴドン（エンカロソ　十五キロに付）

十月
十一月
十二月
一月
二月

◆白米（六十キロに付）

△アグリヤ、エスペシヤル

十月
十一月
十二月
一月
二月

△アグリヤ、スペリオル

十月
十一月
十二月
一月
二月

◆モミ（六十キロに付）

△アグリヤ、ボン

買　十月　二一、九〇〇
十一月　二一、五〇〇
十二月　二一、六〇〇
一月　二一、七〇〇
二月

賣　十月　二二、五〇〇
十一月　二二、五〇〇
十二月　二二、五〇〇
一月
二月

◆豆（六十キロに付）

△ムラチーニヨ

買　十月
十一月
十二月
一月
二月

賣　十月
十一月
十二月
一月
二月

△アランコ

十月
十一月

●物價表（昨日）

砂糖（特等）　六十基
同（上）　八二、〇〇〇
白米（特等アグリヤ）　八〇、〇〇〇
同（最上アグリヤ）　四一、〇〇〇
モミ（特等アグリヤ）　三八、〇〇〇
同（最上アグリヤ）
豆（上アグリヤ）　二二、〇〇〇
同（最上ムラチーニヨ）　二二、〇〇〇
同（上）　二二、〇〇〇
ミーリヨ（アマレリニヨ）　一二、三〇〇
同（アマレーロ）　一三、〇〇〇
同（アマレロン）　一三、〇〇〇

倫敦（リブラ）　二〇、四二〇
巴里（フランコ）　三九二
ニウヨーク（ドル）　五、八〇〇
日本（圓）　三、一〇〇

●爲替相場（昨日）

日本人諸君に對しては特に懇切に一切の法律事務の御相談に應じます
辯護士　ジョアキン、デルフイノ、リベーロ、ダ、ルース
事務所　總領事館同建物四階十四號室
Dr. J. Delfino Ribeiro da Luz
Largo da Sé No. 3, 3º andar
Sala 14　S. Paulo

御旅館

ジユキヤー線
唯一の旅館
北西屋
ジユキヤー線コンセツソン驛
金城太次

開業廣告

今回上塚殖民地內にブリキ屋を開業致し專ら堅牢にして使用便利の噴霧器を製造し且つ左の廉價を以つて御求めに應ず可く候間何卒御用命被仰下度願上候

噴霧器
15リツトル入
—並製　五十二針レイス
—特製　五十五針レイス

林田伊十
Est. Heitor Legrú, L. Noroeste

▲日本品は何品にても御注文に應ず
聖市コンデ
サルゼーダス街五一番
大澤醬油取次所
木藤商會
KIDO SHOKAI
Caixa Postal 1466
R. C. Sarzedas 51
S. Paulo

干魚、鹽魚、鹽鰯おろしうり

Camara Torrão, 26
Mercado SANTOS
サントス干魚製造所
清岡愛次郎

開業廣告

指物師　野島兵太郎
私儀今般左記の人と共同にて指物幷に建築請負業開始致候間各位諸君益々御引立の程奉希候
聖州ノルテ、サンパウロ線カタンヂーバ市
三谷岩馬
郵函三番

土地賣却

Heitor Legrú は外人間に一名「新日本」と稱せらるゝに至つて居る

今回賣り出す土地は停車場の前面から遠きも二キロメートルスを出でない極めて豐沃な地續である

市街地向きの牧場によく果樹園によく小農業者に取つて此れ以上の好適地は他にないことを斷言しても差支ない私共と志を同うして「ノロエステ」に新日本を建設せんとする同胞諸君は一日も早く視察せられんことを望む

イタコロミー殖民事務所
Estação Heitor Legrú
Linha Noroeste

上塚周平
鈴木貞次郎
坂本留次郎
間崎三郎
三一

TOYO KISEN KAISHA

South American Line

S. S. "ANYO MARU"
From Valparaiso (Chile)

Expected, will leave for Japan & Hongkong via Perú, Panamá, Mexico, Los Angeles, San Francisco and Honolulu, on the 1st. of December.

東洋汽船株式會社
南米航路定期船
安洋丸
十二月一日智利國バルパライソ港出帆の豫定
御照會は下名迄

For information of Passages, apply to
E. MORI
Tel. Av. 651　C. Postal, 1082, S. Paulo

新着到荷

直輸入商
瀨木商店
聖市郵函一七七一番
電話セントラル三八三六番
◇金物類◇種子物◇賣藥
◇昆布類◇罐詰類◇寒天
◇神田醬油取次販賣所

●イグアペ植民地の工場廻り(一)

仰岳生

僕はサントス港の近郊に數年來住居して居る、別段之れと云ふ定まつた營業者ぢやないが都會附近に有り勝ちの日和見的に今日は漁師となり、明日は野菜作りとなり又は其他の雜業に從事して其日を呑氣に過して來たが、どうも定まつた仕事がわつた方が良かろうと思つて居る矢先、地主が砂糖の景氣の良いのを見て僕に砂糖製造をやつて見ないかと勸めるのでつい其氣になつては見たものゝ生れてから嘗めることは知つて居るが造ることは少しも知らないでやつて見ようと云ふには、どうも大膽過ぎる樣で手が出せない、而し地主が中々熱心に勸めるし中々甘相な計算ではあるし出來るものなら一つ遣つて見ようと云ふ氣になつては來たが而し何所か適當な所に見學するが必要だと考へ色々思案の末近くはあるしイグアペ植民地へ來たのが此記事を書く樣になつた基だ、斷つて置くが僕は別段同植民地からコンミッソンを貰つた譯でも親類がある譯でもない、自分としては同植民地現狀が考へて居つた所より餘程相異して居るので、つい僕と同樣な考を持つて居る人もあるだろうと思ひ書き初めた次第だ。

そこでイグアペ植民地行きの道程は抜きにして、レヂストロにある海興の事務所に船で着いたのが七月の廿五日、大體のインホルマソンを得る爲め事務所へ寄つて見た、何でも此植民地は米作りが盛んで砂糖造りは二三人と聞いて居たが、現在設備中のものを加へると工場の數が驚く勿れ六十を越すとの事だ、中には水力蒸氣力を用ふる工場と云ひ得るものもあるが、多くは馬力を用ふる工場の部類で、マスカーボよりマスカビーニヨ級の砂糖の製造に止まるのだ或は七八家族組合でやつてる者も一家族でやつて居るのもあると云ふ。考へて見ると如何に小さい仕掛けのものでも工場から器械から道具、鍋から馬迄揃へるには少なからざる資金を要するのだ、元來此地の植民は最も古いのでも未だ四ケ年に滿たない、新しいのは一ケ年前後の者が多い、古いものは餘裕も出來て之れ等の資金を得るに容易だとしても、入植後一ケ年前後では開墾、地作、住家其他に隨分の金が入る筈で、日本から、珈琲園から入つた者が多少の資金を持參するとしても、此工場の設備は容易であるまいと思つたが、器械類は會社から四ケ年賦で貸して呉れる相だ、場合により地代も待つて呉れる相だ、さすがに大會社ぢや植民地發達の爲めに隨分思ひ切つて金を出して居るらしい、勿論年一割と云ふ安からぬ利息付きだがね、夫れでも他の植民地日伯の所謂シチユアンテ諸君には思つても見られぬ恩典だねー、何でも甘蔗熱が旺盛で來年頃は米よりも栽培面積が多くなるだろうとの事だ。

植民地内には百二十餘キロメートルの道路があつて道路のない地區はない相だし、道は巾は廣くはないが良く出來て居る、馬車が何んでも四五十台毎日景氣良く運轉して居る、地圖一枚を事務所で貰つて其道を四五日テクツた、最も近い所に深町君がマンヂョーカの製造をやつて居る、水車仕掛けだ、何んでもサンパウロから二コント半かけて器械を買つた相だ、水車、貯水池、家其他の製造道具を合すと工場丈けに約六コントス掛けて居る相だ、器械据付けがやつと濟んだのみで尙試驗時代であるのと水力が充分でないのとで思つた程の能力はない、現今一日男女共三人で三俵、設備が整へば五袋位は出來る豫定だ相だ、深町君は決してマンヂョーカ專門ぢやないが、將來マンヂョーカを主作物とする積りで今三アルケーレス位の植付けた畑があるー アルケールの畑から四百俵出來るとして耕作費一アルケール一コントとすれば一俵割二ミル五百、一俵の製造費三ミル半として一俵の生産費計六ミルレース、之れを一俵十六ミルと云ふ値段は隨分良い儲けだ尤も此計算は勞働賃金を三ミルと見たのだが此植民地の手間賃は目下四ミル五ミル出しても人がないと云ふ勞働者大不足だ。

●ピストルの眞相

カタンヅーバ　小林生

本年九月三日發行日伯新聞第百八十二號所載『ピストルを突付ける』と題し、ボアソルテ殖民地に於ける地代拂込金領收證を詐取して他より金を借り出さんとして發覺し云々の記事は、事實大に相違し、日伯新聞が事の眞相を取調べずして投書の儘を記載されたるを遺憾に存じ候、依て余は余の立場を明瞭にせんため茲に當時の事情を報じ、カタンヅーバ附近在住諸君は勿論在伯同胞の公平なる御判斷を乞はんとするものに候、ボアソルテ日本人會々計小野清七、同會校務委員山本民之助の兩氏は、余が同殖民地在住當時よりの親友に候處一日當市なる余の寓居へ來訪、土地代金第二回拂込期限の迫れるも收穫せる米豆等の相場安くして賣放すは惜しゝ、何とか金策はなきかとの相談有之候、兩氏は實直にして充分信用出來る人なるを以て余も能ふ限りの盡力をなすべく約し、ドットル、ベガードに右の事情を述べ助力を乞ひたるに、同氏は當市の醫師カンポス氏に紹介し呉れたり、然るにカンポス氏は月四分の利子ならば融通すべしとの返答なりしを以て、斯かる高利の資金にては農業者として引合べきにあらざれば、余は兩氏に一時見合せる方得策なる旨を告げ、右の顚末をベガード氏に報告したるに、同氏は土地賣買登記手續の正當なりや否やを見たしとの事に、共にカルトーリオに行きて取調べ、兩氏共に土地代金半額拂込濟の事實を確めたるを以て、ベガード氏は更にジヨゼーペードロ氏に低利融通の相談をなし呉れたり、ペードロ氏は無抵當月二分の利子にて四コント丈け融通する故、土地代金半額拂込の領收證を一見したしと申込まれたり抑々ボアソルテ殖民地は二十二名の共同所有に係り、其土地代金拂込證書は同殖民地土地組合長内田友吉氏之を保管し居るを以て、右の事情を述べ一時借用せんとて小野山本兩氏は歸殖したり、之と同時に村田秀太郎氏も亦同殖民地々主の一人として金策に余の許へ來られしに依り、前記の事情を語りたるに、然らば兩氏と相談せんとて歸殖し、三氏相談の上、村田氏が日頃内田氏と最も親しき間柄なるを以て、村田氏が代表者となりて内田氏に交渉したるに、内田氏は組合所有の領收證を個人に貸與する事能はずとの理由に由り拒絶したり、依て三氏は更に會議の上、同殖民地日本人會長上月保次郎氏に相談し、同氏同道にて内田氏を訪ひ領收證は單に金主たるペードロ氏に示すのみにして抵當として提出するものに非ざる旨を說き、内田氏の承諾を得て右領收證を借り出したり、余は四氏の外に葡語に堪能なる松岡次男君同道、先づ仲介人たるベガード氏に右領收證を示したるに、此領收證は六十コントのものに非ず、内入金四十コントの證書なれば、尙二十コントの證書ある筈なりとの事に内田氏に之を照會し、聖市なる嶺昌氏の許に保管せられ居る事判明したり、余は四氏の依頼を受け嶺氏に宛て御差支なくば右二十コントの領收證一時貸與されたき旨を書き送りたる次第に候(つづく)

大工募集

一、日給八ミル支拂ひ年中無休業
家族者希望に依り機械播米作地を貸與す

メランシア米作地
佐藤半三郎

手紙ハ佐藤半三郎ニ書キテ
Sato Hansabiro
Faz. Melancia
Est. Uberaba (Minas)
L. Mogyana

Garage Normal
Tel. Cidade, 56
Praça da Republica No. 121

業務懇切丁寧
一時間　拾ミル
同胞諸君の御愛顧を乞ふ
貸自動車業
電話シダーデ五六
ブラサ、ダ、レプブリカ一二一
中村末熊
林岩松

旅館
和洋御料理一切
ポニータ街一一番
上地彌藏
郵函　一二二五
電話ラヂオ　五七〇一
神田醬油取次販賣所

御菓子
まんぢう、やうかん
せんべい、その他
相變らず御引立を願ひます
村上銀市
Rua C. Sarzedas, 71

御禮
出張員渡邊一捷アラ、クワラ線出張撮影中は到る所多大の御贔員を蒙り難有御禮申上候
順て日數も豫想外永引き候へば此際一と先歸聖致し拜趨漏れの諸賢には次回改て御伺申事と仕り深く御詫申上候
石井寫眞館主　敬白
北聖線諸賢

CASA BARATEIRA
安戸敏行
Est. Heitor Legrú　*　Est. Biriguy
Linha NOROESTE
▼營業品、雜貨、金物類食料品、其他、噴霧器、種子蒔機、ベルデバリース
▼日本品、化粧品、小間物、賣藥、食料品、大工道具、玩具、雜誌類種子物、正宗、醬油、生乾魚
兼業〈旅館〈パン製造販賣
煉瓦及屋根瓦
農產物一切買入
開店以來多大の御引立を蒙り難有奉謝候就て
支店を設け本店同樣品物も取揃へ大勉强に
尙一層の御用命に應ず可く候間
上候
本店ノロエステ線エクトルレグル驛前
支店ビリグイ町
活動寫眞館前

綺麗で、迅速で、丁寧で有名な
石村洋服洗濯所
電話セントラル參貳參四
Rua dos Lavapés No. 236

旅館
成功館
古謝將義
電話番號一〇〇八
Largo 7 de Setembro, 15 Santos

聖波羅土地材木殖民會社
◆當社は水質良好、氣候溫和にして珈琲其の他の全作物に適する肥沃なる絶好殖民地ビリグイ。エイトール、レグルーの土地を廉價且つ拂込方法を容易にして賣却す
◆ビリグヒ殖民地は、既に四百家族の現住日本人あり、且つ道路四通八達し兒童教育機關及び日本醫院の設備等あり
◆尙詳細は左記宛御照會ありたし
ビリグヒ代理人　宮崎八郎
Est. Biriguy　L. NOROESTE

伯國醬油製造界元祖
神印最上醬油
サントス港
釀造元　神田榮太郎
Caixa Postal, 282
SANTOS

P. Machado & Co.
CASA BANCARIA
Albuquerque Lins
◆營業課目◆
一、日本其他諸外國宛送金
一、一般手形割引
一、預金は一口五十ミル以上御預り申し左の利息を附し小切手、通帳差上候
小口　一ケ月　一當座
同　三ケ月
同　六ケ月
同　九ケ月
同　一ケ年
同　同　同　同　預金据置
同　同　同　同　年
同　同　同　同　三步
同　同　同　同　四步
同　同　同　同　五步
同　同　同　同　六步
同　同　同　同　七步
同　同　同　同　八步
加奈陀ローヤル銀行代理店
ノロエステ線アルブケルケ、リンス驛
マツシヤード商會

FUJISAKI & COMP.
日本品各種
藤崎商會
本店　リオ、デ、ジヤネイロ
支店〈ペルナンブーコ
〈バイヤ
支店サン、パウロ
Rua S. Bento No. 68-A
Tel. Cent. 2788—Caixa, 344
S. PAULO

日本近信

●『君が代』に次ぐ 國民歌の制定

……民力の涵養士氣の鼓舞……
……其目的で內務省の立案……

內務省では今回國民思想の統一と民力涵養並に士氣鼓舞の爲め國歌の君が代に次ぐべき

◆國民歌が　制定することに決したそして懸賞募集を行ふか或は斯道の大家に作歌を委囑するかは目下考慮中である、之に就き田子社會課長は語る『近來我國の士氣が衰へたといふ人があるが獨逸の諺に一つの聲、一つの國といふことがある、即ち聲を同うして高唱すれば國民思想は統一し得ると思ふ、現在

◆我國で　はこの國民思想の統一と民力涵養は急を要する問題であるがそれを助長するには獨逸の『ラインの護り』とか佛國の『マルセーユの歌』の如く國民歌を創造することはその効果が偉大であると信ずる、歌米諸國では演說中でも興趣が湧けば聽衆は朗かに歌を唄ひ辯士も壇上で拍子をとつて國民性の陶冶に勗めてゐるが我國には殆んど斯る歌は無い國歌の

◆君が代　は餘りに壯嚴であるから思想統一などに歌ふことは愼まねばならない、曾て私が大西洋を航海中丁度七月四日亞米利加の獨立祭に遭遇し船客は互に各國の國歌を唱へたその時に時間の都合で日本の國歌は中止して呉れと云ふ交渉があつたが私共十人許りの日本人がそれを拒絕して高らかに君が代を唱つたが其

◆壯嚴　な歌調には船客は非常に感動したことがあつた、どうしても日常知らず〳〵の間にその効果を收め得るのは唱歌が最も適當であると考へて發案したのである』

●風雨被害（八、五日）

▼靜岡縣の山崩れ……二名埋沒慘死……

靜岡縣駿東郡小山町淡島神社裏山岳十五間四方十時半崩壞し二戶一棟埋沒し菓子製造業杉山喜十郎（三五）妻お島（三）は埋沒壓死されたり

◆同縣下の豪雨被害

靜岡縣下に於ける頃日來の豪雨は五日朝に至り歇みたり各河川の出水に依る稻作の被害は殆ど無く堤防流失四箇所百間、決潰十數箇所、橋梁流失八箇所延長二百廿間ありたるのみ

◆沼津の浸水三百餘

沼津町附近にては三日夜來時々驟雨あり四日早朝豪雨となり午前七時頃より十一時五十分迄降り續き一時市中は通行杜絕し同町三枝橋、平、志多町、下河原方面は一面の泥海と化し浸水家屋三百餘戶を出し狩野川御成橋附近增水六尺に及びたり

◆群馬縣下の被害

四日台風襲來の爲め群馬縣下に於ける被害は新田、佐波二郡に於て人家倒潰四十一、非住家二十三にして負傷者八名あり其他詳細は目下調査中なるも尙相當の被害ある模樣なりと

◆長野縣下の地辷り

五日午前八時長野縣上高井郡米子礦山に地辷りあり人夫小屋四棟を土中に埋沒し礦夫七名慘死せり

●新博士十八名

文部省にては七月廿八日午前九時より大臣室に於て左記十八名に對し學位授典式を擧行したり

▲理學博士

東京帝大（論文）	岐阜	和田德次郎
同（上同）	廣島	坂村結一郎
		長田徹
		高木春生
		福岡繁
		岩井誠四郎
		愛知進
		稻田光次
		石田英三
		有馬庫
		近藤

▲醫學博士

東京帝大（論文）	東京	佐賀繁
同（上同）	廣島	高木春生
同（上同）	福岡	繁
同（上同）	東京	岩井誠四郎
同（上同）	愛知	進
同（上同）	靜岡	稻田光次
東京帝大（上同）	東京	石田英三
同（上同）	東京	有馬庫
		近藤

▲農學博士

北海大學（大學院卒業）	北海	逸兒武治
同（上論文）	鳥取	山根其信
同（上同）	北海	井口賢三
同（上同）	同	宮鷲富

▲工學博士

東京帝大（論文）	高知	片岡安
同（上同）	滋賀	塚本小四郎

●新博士十八名

文部省にては七月廿八日午前九時より大臣室に於て左記十八名に對し學位授典式を擧行したり

▲理學博士

東京帝大（論文）	岐阜	和田德次郎
同（上同）	廣島	坂村結一郎
		長田徹
		高木春生
		福岡繁
		岩井誠四郎
		愛知進
		稻田光次
		石田英三
		有馬庫
		近藤

▲醫學博士

東京帝大（論文）	東京	佐賀繁
同（上同）	廣島	高木春生
同（上同）	福岡	繁
同（上同）	東京	岩井誠四郎
同（上同）	愛知	進
同（上同）	靜岡	稻田光次
東京帝大（上同）	東京	石田英三
同（上同）	東京	有馬庫
		近藤

▲農學博士

北海大學（大學院卒業）	北海	逸兒武治
同（上論文）	鳥取	山根其信
同（上同）	北海	井口賢三
同（上同）	同	宮鷲富

▲工學博士

東京帝大（論文）	高知	片岡安
同（上同）	滋賀	塚本小四郎

●日米運賃値上げ

神戶橫濱輸出商組合は八月廿八日神戶に大會を開き太平洋及び米大陸橫斷荷物運賃値上げ問題を討議し結局日米兩國の運賃値上げ修正案に同意する事となり十月十日より三割增しとなりたるも生絲、陶器、磁器及び雜貨等の運賃は從前通りなり

●原氏爵位拜辭の眞相

原首相爵位拜辭の眞相は政黨の立場より同氏にして若し恩命に接するに於ては政界引退の餘儀なきに至らんを虞れて豫じめ此擧に出でたるものなりと

●正米四十錢臺

暴落に暴落を告げたる正米相場は遂ひに一升四十錢臺を呼ぶに至れり

東京電報、桑港近信（九月七日）

●講和使節授爵

ヴエルサイユ講和會議直接又は間接に關係せる外交官連は講和條約締結の功勞を認められ次の如く昇爵授爵さる

授侯爵	西園寺公望	
授外務大臣子爵	內田康哉	
授伯爵	珍田捨巳	
授男爵	牧野伸顯	
大藏大臣男爵	高橋是清	
授子爵	駐米大使	幣原喜十郎
		松井慶四郎

依勳功授男爵（特旨を以て華族に列せらる）

▲附記—全權委員の一人伊集院彥吉氏につき聯合通信は報じ來らざるも多分男爵を授けられたるならん、幣原氏は大戰及び講和談判中外務次官たり、松井慶四郎氏は全權委員の一人にて當時駐佛大使たり、內田康哉氏は外務大臣たりし爲めの昇爵ならんも高橋蔵相が昇爵せられたる理由は明瞭ならず

●澁澤男昇爵

男爵澁澤榮一氏は實業界の貢獻に對し特に子爵を授けられたり

●石黑男昇爵

日本赤十字社長男爵石黑忠悳氏は同社長を引退し副社長の一人たりし平山成信氏社長に擧げられたり尙宮中よりは石黑男在任中の功勞に對し特旨を以て子爵を授けられたり

丸三印改め　花の露印醬油

從來丸三印として皆樣の御愛用を蒙りつゝありましたが、今回醸造法を改良し州衛生局の試驗を經て、營業上に關しては稅務署の認可を得て以前に優る美味にして滋養に富む醬油を發賣する事とし其名も前記の通り改めましたから倍舊の御引立を伏して御願ひいたします

ルア、コンデ、デ、サルゼーダス六五番
倉庫　山田隆次
ルア、ドス、トリーリョス一一八番
醸造元　吉田治郎
太田吉太郎

日本雜貨卸商

リオ支店
Rua Candelaria, 90
Caixa Postal, 1246
Rio de Janeiro

日本貿易株式會社

聖市出張所
Rua Quintino Bocayuva, 80
Caixa, 1714 Tel. Cent. 3449
São Paulo

◇御婦人用新式サアイヤ特賣◇

A號　四十釐
B號　三十三釐

（御婦人用サアイヤ一着布地上等カジミーラウス地色アズルマリンニヨ）

昨今サンバウロで流行の最も品のよい形を至極入念に仕立てあります仕立方も色も布地も是れなればキット皆樣の御氣に召します切見本御希望の方へは差上げます尙御注文の節は胴、腰の廻り、長さ等御知らせ下さい

仕立洋服、化粧品
小間物、賣藥、種子、額面、土佐鋸

日伯物產便利組
Caixa Postal, 1750 S. Paulo

土地賣却

一位置、カタンヅーバ驛を去る廿二基米の地點に在り
二地代、一アルケール三百五十釐
三地代金拂込方法、契約すると同時に半金を支拂ふべし殘半金は二三年間に仕拂ふべし
四地質、最上等（クルツーラ）にして第一珈琲其他の農產物に適當此以上好適地は北聖線にない事を斷言致しても差支なし此地に新日本耕地を建設せんとする同胞諸君は一日も早く視察致されん事を望む

ノルテ、サンバウロ線カタンヅーバ驛
サンターナ耕地
郵函二三八番
代理人　片山昇

米國新式の
矢部ボノミ合同洋服部

ルア、ロバキエス、シルヴア二三番
（ルア、キンチーノ、ボカユーヴア八四番の前）
電話　セントラル　四一五一番

●送金無手數取扱

當店は移植民諸君の御依賴に應じ是迄輕少なる手數料を以て其本國御送金取扱居候處一層諸君の御便利の爲め今後は全く無手數料にて御送金取扱可申候

○日本內地の郵便爲替料、書留料其他受取人へ送屆に關する費用も總て當店に於て負擔可致候
○金子は郵便爲替、銀行小切手又はコンヴアロールにて當店に御送り相成りて宜しく候

サンバウロ
海外興業株式會社支店

當所へ御通信の節は之を切取り狀袋の表に御張附可相成候

Kagoi Kogyo Kabushiki Kaisha
Rua Tamandaré No. 127
Caixa Pastal, 1082
S. PAULO

廣告

弊社貸付移民中來年一月末日は第二回返濟期に相當致候にも不拘未だ第一回の返濟をなさゞる者も有之貸金整理上尠からず支障を來し候に付ては來る拾一月末日迄に無相違御拂込相成度万一期日迄に御拂込無之候節は不得止本國保證人に辨濟方請求可致候間左樣御了承相成度此段廣告仕候也

大正九年十月

宛名　MORIOKA IMIN KAISHA
s/c Brazil Imin Kumiai
Caixa Postal, 1082　S. PAULO

森岡移民株式合資會社

◎各國電報

▲中央政府と加州排日法案（三日華盛頓發電）

國務省は加州に於ける排日騒動の爲め日本移民制限を實行し以て將來の紛糾を除去せざる可らざる事を曉れり

日本大使幣原男は國務卿コルビー氏を訪ひ、加州議會を通過したる法案に對して再び抗議を申込みたり、國務省の態度は最も興味を以て注視せられつゝあり、日本移民は久しき以前より兩國政府間の所謂『紳士協約』に依り特別に嚴重なる取調べを受けつゝあるが日本駐劄北米大使は東京政府と共に、此協約を改締し以て在米日本人の境遇改善を圖らむと研究の末、此機會に於て日本政府をして移民制限に關する北米政府の考案を承認せしめんとせしも無効に終れり、然れども現狀の儘にては双方共に不利なるを以て、遠からず圓滿なる解決を見るに至るべしと期待せらる

▲暴風東京を襲ふ（三日東京發電）

近來稀なる大暴風日本東海岸を襲ひ東京及び横濱は夥しき損害を被れり

▲滿洲暴徒日本人を殺戮す（六日東京發電）

外務省の接手したる報告に依れば、去る二日四百名の暴徒琿春を襲撃して十五名の日本人を殺戮し、日本領事館を燒き拂へり

▲排日法案と極東問題（五日華盛頓發電）

國務省は在米日本人の權利及び日本移民に關し日米間に展開せられたる商議の現狀に深く憂慮せるが如し、北米の一高官は日本人問題を以て北米を惱ます一大暗雲なりと語れり、又曰く、日米間の不和は日本が彼の有名なる二十一箇條の覺書を支那に交附せし以來遂に解けず、其平靜に見えしは大戰中なりしが故なりと、國務省は此問題を以て加州が發布したる排日法案に其端を發するものとなせり、一般の言ふ處に依れば、日本の極東に於ける其勢力範圍擴張の政策に關し、日米間に極めてデリケートなる文書の交換ありしため、今次の問題に一層の紛糾を來せりと、日本大使幣原男は躬ら此問題に鞅掌し殆んど毎日國務卿と會見せり

▲北朝鮮形勢不穩（七日倫敦發電）

東京よりの電報に依れば、朝鮮北部の形勢著しく不穩となれり、暴徒は再び北部の都市に殺到せり

●聖市御到着の白耳義兩陛下

聯邦大統領、外相、遞相等の陪乘せる白耳義皇帝皇后兩陛下の御召列車は豫報の通り五日午後七時にルス驛に着いた、州統領、副統領、各局長官、市長、外交團其他知名の內外人悉く驛に參集して御迎へ申上げた軍樂隊が白耳義及伯國の國歌を奏して居る間に兩陛下は州統領の御先導で徐かに自動車に乘御になつた、隨員及び伯國官憲も夫れ〴〵十七臺の自動車に分乘すれば、槍騎兵先頭に立ち、軍樂隊、提灯を捧げたる步兵之に次ぎ、御召自動車の前後左右には物々しき儀仗騎兵護衛して、フロレンショアブレウ街、市役所前、ムニシバル廣場、共和公園、バルメラス街を御通過、御旅館と定められたるアントニオ、プラド翁の別莊シャカラ、ド、カルヴアリオに御到着になつたのは八時十分であつた

隨員及聯邦大統領、各大臣等の旅館も矢張プラド家一族の邸宅を以て充てられてある

此日聖市では、光榮ある戰勝國の皇帝皇后兩陛下を迎へると云ふので、御通過の道筋は勿論、町端れの家々でも國旗を掲げて敬意を表し、畫を欺く程イルミネーションは點されも沿道に集まれる山なす人々の口からは「ヴイヴアー！」の聲耳も聾せんばかりであつた

▲州統領御訪問

皇帝陛下には六日朝侍從及武官を隨へさせ、カンポスエリゼオスの官邸に州統領ワシントン、ルイス氏を御訪問遊ばされ、貴賓室に於て御手づからレオポルド二世勳章を州統領に授け給ひ、統領秘書官及武官には侍從ドルトレモン伯をして夫れ〴〵勳章を授與せしめられ、午前九時御歸館遊ばされた

▲閱兵式

州統領は六日午前九時二十分御旅館に伺候して御禮を申上げ、夫れより兩陛下を御案內してアベニーダ、チラデンテスに閱兵式を行ひ、御覽に供したるに、陛下には伯國陸軍の勇壯にして規律正しきを御賞讃遊ばされたそうである

午後二時州統領は日下開催中の聖市工業博覽會に兩陛下を御案內申上げ夜はカンポズエリゼオスなる官邸へ御招待申上げ盛大な晩餐會を催した

▲皇太子の御來聖

白耳義皇太子レオポルド殿下には、去る五日午後九時リオ御到着、翌日一日御休息、同夜行列車にてリオ御出發、昨朝九時半ルス驛御着、州統領其他の御迎へを受けさせられ、直ちにブタンタン研究所へ赴かれた

▲グワタバラ耕地へ兩陛下には昨朝七時グワピーラなる飛行場に、エヅー、シャーペス氏の飛行を御覽あり其巧妙なる技術を賞せられ、八時同飛行場から直ちにブタンタン研究所へ赴かせられ、茲で皇太子殿下と御對面の上、各種毒蛇飼育の模樣、血精製造等の說明を聞召されて御歸館、午後二時女子師範學校へ御參觀、午後五時御歸館、それより御出發の準備に取掛らせられ午後七時半特別列車にてグワタバラ耕地御視察に赴かせられ、これで公式の聖市御訪問は終りを告げた

●藤田總領事イグアペ視察

藤田總領事は着任後管內視察の手始として次週イグアペ植民地視察に赴かるゝ由なるが其の際には春日副領事も同行の筈なりと

●練習艦隊歡迎團委員の寄附金勸誘が好況

……僅か一週間の集り高

聖市丈で九コントス餘……

サンパウロ市及び附近の在留同胞と爲す者も尠なからざる由であるがサントス及びジユキヤ一帶在留同胞とが一致合體して我が海軍練習艦隊歡迎の寄附金勸誘に奔走しつゝある事は既に報道せし如くであるが今回の艦隊歡迎は當地に於て始めての事であるから委員に擧られた人人も如何にして歡迎被歡迎の人々を滿足せしむるかに就ては一と通りならぬ苦心であるさうだ

▲併し幸ひな事には艦隊歡迎の擧は到る處非常なる人氣にて發企者委員からの勸誘を俟すして寄附の申込を ほゝ聞く處に依れば勸誘狀を受けたる地方遠隔の人々も心から喜んで其の勸誘を容れ最寄〳〵で既に集金に取掛り居るとの事なれば其の結果は豫定額以上に達すべき模樣である

▲現に此の一週間に聖市にて集まつた高だけにても別項發表の如く九コントス以上に達し居るのを見ても如何に艦隊歡迎の擧は在留同胞の希望に合し賛成が多いかゞ明瞭する、今之が歡迎方法に就ての豫定案なるものを記せば左の如くである

◆練習艦隊歡迎方法

△廿四コントス案

一、艦隊リオ着の際委員三名派遣　九〇〇〇圓
二、艦隊サントス入港の際出迎蒸汽船二隻　一、〇〇〇圓
三、七官及練習生三百名汽車賃　二、六〇〇圓
四、右聖市見物自動車六台　二、〇〇〇圓
五、右招待園遊會開催　二、〇〇〇圓
六、下士以下サントス見物電車賃（凡そ千二百名を二日に瓦り案內）　一、〇〇〇圓
七、右招待の酒肴及舞當（會場費も含む）　四、八〇〇圓
八、サントスの少尉候補生招待（但し時間と費用の許す場合に行ふ）　四、〇〇〇圓
九、艦隊乘組總員へ贈物（千六百名に對し一名一圓宛の紀念品）　一、六〇〇圓
十、サントスに於ける雜費　一、〇〇〇圓
十一、サンパウロに於ける雜費　三、一〇〇圓
計　二四、〇〇〇圓

備考
A サンパウロ、サントス共通費用　三、五〇〇圓
B サンパウロに於ける費用　九、七〇〇圓
C サントスに於ける費用　一〇、八〇〇圓

●土佐丸神戸出帆

當地移民組合支部への電報に據れば日本郵船の『土佐丸』は十四家族（六十三名）
移民夫婦者　十組（二十五名）
植民一家族（十名）
呼寄　六十二名
計　百六十名
を載せ十月一日神戸出帆サントスに向ひたりと

●天長節祝賀相談會

吾々の須臾も忘るべからざる天長の佳節は愈々此處二十有餘日に切迫せるを以て日本人青年會、日本倶樂部ミカド運動倶樂部が發企し來る十日（日曜）午後七時よりコンデ街大正小學校內にて市內在留同胞の天長節祝賀相談會を開くことになりたれば一般同胞は定刻に遲れざる樣出席せられたしとは發企者の希望なり

●日本倶樂部臨時總會

△明九日（土曜）午後八時▽

改正規約の下に部員を增加したる日本倶樂部は明九日（土曜）午後八時同倶樂部內に臨時總會を開き重要事項を協議する由なれば部員諸氏には奮つて出席ありたしと

●朝日法學士來聖●　南洋貿易會社員にして帆前船を裏南米へ廻航の用向にて智利へ出張中の法學士朝日胤一氏は河內丸にて歸朝の目的を以て去る二日來聖市內見物の上五日朝汽車にてリオへ向け出發せられたり

■各地通信■

●サントス●　の沖繩縣人會は去る三日總會を開き、會務の報告、役員の改選を行ひ、次いで練習艦隊歡迎に關する打ち合せをした處が、集れる五十七人の會員は一人として不賛成を唱るものなく、寄附金の如きも最低額たる金十ミルは僅かに七名で、他は皆夫れ以上、中に百ミルが二人も居て、縣人會からは別に二百ミルも出すと云ふ意氣込みだそうな、流石は縣人會として最古のものだけあつて、會員の訓練の行屆いてるのには何日ながら敬服させられる

●ジユキア●　線は百六十基米突の沿線に散在して居る同胞が、五名の委員を選擧してサンパウロ及サントスとの交渉に當らしめて居る、同線のアンナヂヤス、イタリリー、リオベツシ、ペドロバーロスの諸驛では、先月十五日稀有の降雹あり、大きいのは一個二百五十瓦、ために家畜や作物の被害可なり大なるものありしに拘らず、練習艦隊の寄港は全く千載の一遇であれば吾々在留者は能ふ限りの熱誠を以て盛大に歡迎せざる可らず、區々一期の作物の被害を云々する秋にあらず、歡待費などに頓着なく、大に遠來の將卒の勞を犒はんとは、同線一般の意向であるとの通信があつた

□□人事來往□□

▲春日副領事珈琲園視察　總領事館の春日副領事には去る三日古關氏同道コンセッソン珈琲園視察即日歸聖

▲明穗氏リオへ出張　移民組合の明穗梅吉氏は河內丸便歸朝者の用向にて四日リオへ出張

●御斷はり

本社移轉後去る一日を以て不取敢六頁新聞を發行し本號よりは更に面目を改めて記事を整頓して舊の如く八頁新聞を發行する筈でありましたが又々印刷機械に故障を生じ甚だ遺憾ながら六頁しか發行することが出來ませんから何卒右事情御諒察の上幾重にも御寬恕あらんことを奉冀ます

謹告

練習艦隊歡迎團委員氏名響に廣告仕置候處今般『サントス』市委員として左記五名の追加決定致候間此段謹告候也

（イロハ順）

橋本　蒼
渡久地政人
上原清吉
赤嶺新
宮城野榮
利三郎
以上

大正九年十月四日

練習艦隊歡迎團

發起人

聖市在留同胞諸彦

各位益々御清穆の段奉慶賀候陳ば來る卅一日天長節祝賀に關し當市在留同胞一同相會し協議致度茲に相談會開催を發企致候間來る十日（日曜）午後七時コンデ街大正小學校まで御來集被下度此段以紙上御案內申上候　敬具

追て廣告の外別に御案內狀差上不申候間當日は御友人御誘ひの上漏れなく御出席下さる樣奉希望候

大正九年十月八日

發企者　伯國日本人青年會
同　日本倶樂部
同　ミカド運動倶樂部

練習艦隊歡迎費寄附者芳名並金額（一回）（受付順）

●サンパウロ市

一金貳コントス　海外興業株式會社
一金壹コントス　伯國支店
一金五百圓　伯刺西爾移民組合
一金百五十圓　伯國支部
一金百五十圓　青柳郁太郎
一金壹コントス　山田揚之助
一金百五十圓　藤崎商會
一金百五十圓　熊坂清四郎
一金八百圓　鈴木正雄
一金百圓　日本貿易株式會社
一金參百圓　聖市出張所
一金百圓　岩澤彦夫
一金參百圓　森園移民株式會社
一金百圓　森英三
一金參百圓　カフエー　パウリスタ
一金貳百五十圓　伯刺西爾時報社
一金百五十圓　黑石清作
一金百五十圓　日伯新聞社
一金五十圓　三瀦伯浦
一金貳百圓　ミカド運動倶樂部
一金百五十圓　木商店
一金貳百圓　鮫島直哉
一金五十圓　福島縣人會
一金百圓　ジヤツポン　ガーザ
一金六十圓　渡邊孝遷
一金五十圓　石井一歩
一金百五十圓　志賀伊之助
一金百五十圓　山崎芳藏
一金五十圓　東順三郎
一金百五十圓　伊藤昌
一金五十圓　嶺比久孟德
一金百圓　屋小倉小次郎
一金五十圓　木藤商會
一金百圓　菅平吉
一金百圓　日伯物產便利組
一金貳百圓　中矢熊太郎
一金百圓　上地旅館
一金五十圓　中山旅館
一金百圓　小川旅館

▼小計　九コントス四十ミルレース也

練習艦隊歡迎團

8 de Outubro de 1920 NO. 157

Noticias do Brazil

大正九年十月八日　金曜日　第百五十七

長篇講談

桑平内

第百席　鐵扇齋お光の恥辱を雪ぐ

平『正直の頭に神宿るとは好く言つたものだ、人間は貴樣のやうに正直であれば出世をするに極つたもの、此後ともに主人大事に奉公を怠るなよ』幸『有難う存じます、幾ら正直でも貴方にお目に掛らなかつたら私は何うなつたか分りませぬ、此御恩は生涯忘れはいたしません』と最も鄭重に鐵扇齋を待遇して居つた幸吉夫婦の勸めについ〳〵此家に逗留して毎日小倉の御城下を見物して居ると爰にまた妙なお話が起つたといふのは倒の豐前屋傳兵衛に一人の娘があ る名をお光と申して今年十八の容色好し後妻のお夏との折合が惡かつたので宅に置いては好くないと心配の餘り小笠原家の御徒士頭で河東紋十郎といふ人の屋敷へ行儀見習ひのために御奉公に上げてあつた處が今度豐前屋の騷動に就てお夏が居なくなつたから傳兵衛は誠に不自由で困る手代、丁稚、女中は十五六人も使つては居りますが、是れも根を洗つて見れば他人ですから偶には心を許されないこともある、どうか娘のお光を呼戻して手廻りの世話がして貰ひたいといふ是りや親子の情で此事を幸吉に相談すると幸吉も大賛成 幸『それは旦那樣、誠に結構なことで早速御宿下を願ふが宜しふうございます』傳『然うか、ぢやア見世の者をやつても先方へ失禮だ、病氣も大概癒つたから私が自身にお願ひ申して來やう』幸『さうなさいまし、お氣をお氣をお注けなすつて往つて入つしやい』と幸吉は傳兵衛を送り出して置いて帳場に坐つて帳合をして居る間もなく傳兵衛は戻つて來た 傳『幸吉や、マア喜んでお呉れ河東樣も早速御承知下すつた、明日とも云はず困るだらうから今直に下げてやる、と斯う仰しやつて下さる、だが手荷物を取纏る仕度もあらうし、女の仕度は長いから、私は一足先に歸つて來た』幸『ヘエ、それは、マア直にお聞届け下すつて都合が好うございました』と互に喜んで居る然るにもう歸るだらうと待てど暮せど歸つて來ない、彼是する内に日はトツブリ暮れた 傳『幸吉、未だ娘は歸つて來ないかい』幸『ヘエ、お戻りがございませんが』傳『ハテナ、もう戻りさうなものだ、オヤ〳〵日も暮れて表は眞暗になつて來た』と立つたり居つたり待ち兼ねて居た其内にハヤ刻限は進んで四ツと相成りましたサア、何時まで經つても戻る筈のお光の姿が見えません故親父の傳兵衛はもう堪らなくなつて再び見世へ出て參り丁稚の岩吉といふのに向つて 傳『岩吉や』岩『ヘエ』傳『お前氣の毒ぢがな幸吉の家へ往つて娘のお光が未だ戻つて來ないから一つ急いで河東樣の御屋敷へ迎へに往つて呉れと早く言つて來て呉れ』岩『ヘエ畏まりました』と丁稚の岩吉は提灯に火を點し表へ飛出すが早いか幸吉の宅へ馳せ付けて參り 岩『番頭さん、御注進々々々』と戸をドン〳〵と叩いた 幸『誰だい今時分……』岩『ヘエ、見世の岩吉でございます、鳥渡此處を開けて下さいまし』幸『ア、岩吉か、もうお嬢さまは疾にお歸りなつたらうな』岩『其の一件なんで……』幸『其一件だ待て待て直ぐ開けてやる』女房が戸をガラ〳〵と開けてやつた、幸吉は未だ眠つた譯ぢやアない、鐵扇齋の對手をして一口飲んで居ります 岩『ヘエ、今晩は……』幸『何うしたのだ今時分……』岩『ヘエ、番頭さん實は是々云々でございまして、河東樣の御屋敷へ貴方に鳥渡迎へに往つて來て下さいと旦那が仰しやいました、ヘエ左樣なら』幸『コレ待て……』と止めても肯かず岩吉といふ小僧は頓狂な奴で、ブイと歸つてしまふ 幸『アハ、、何のことだい、岩吉奴……夫れにしても今までお嬢樣のお歸りがないといふのは什麼したのだらう、マア、兎も角も迎へに往つて見やう』と幸吉は急ぎ身仕度をして 幸『お吉提灯をともして呉んな』吉『ハイ、好うございます』と女房のお吉は提灯を取出して手早く火を點し是れを幸吉に渡した、幸吉はそれを受取りながら鐵扇齋に向つて、幸『モシ先生鳥渡一走り往つて參りますから切望御悠然召上つて在しつて下さいまし』すると鐵扇齋が 平『奉行の松本金太夫樣の御子息金之助アヽ、幸吉暫らく待て、乃公も大層酩酊をいたしたから醉を醒ますためにボツ〳〵附合つてやらう』幸『ヘエ それは恐れ入りましたが、お休みなすつたら宜しうございませう』平『イヤ夜風に吹かれるのも氣持の好いものだ』と其儘幸吉と共に戸外に立出で互に話を致しながら差掛つて來た處で女の力では迚も敵はず、大勢に抱き竦められ到頭樣を破られた、エヽ、もう何うしやう斯んな目に逢はされては生きて甲斐なき此の上、幸吉お父さんを賴んだぞえ』と袖を拂つて行かんとするを鐵扇齋は引止め平『コレ待つたお光殿、死ぬる覺悟は道理ぢやが親御一人子一人でお前が死んだら父親傳兵衛殿は何の位歎かれう、それでは不幸を重ねる道理だ、幸吉、貴樣は此の娘を連れて早く歸つて親御に安心させてやれ……

李やトランクの中へ仕舞ひ込む十月の月となりましたので